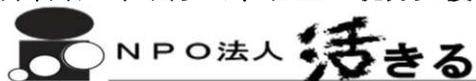




2023年4月1日 第26号
障害者の社会参加、自立・就労支援



〒302-0027 取手市本郷5-4-21
TEL/FAX 0297-73-8361
(平日 10:00~15:00)
ikiru7228@gmail.com
<http://npoikiru.stars.ne.jp/>
<https://www.facebook.com/npoik>

ごあいさつ

理事長 染野 和成



厳しかったこの冬の寒さも和らぎ、日中の暖かさが気持ち良く感じられる今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃から当団体の活動にご協力、ご支援をいただき誠にありがとうございます。皆様にこの1年間の活動報告を会報にしてお届けするとともに一言ご挨拶を申し上げます。

コロナの流行も3年目となり、何とかではあります但对策も見えてきたように思いますが、生きるも各々が予防策に徹して活動しております。当団体が企画するイベントも数少なくし、皆さんと一緒に会って楽しむイベント等は春に催された、「バスハイク」と3年ぶりとなった「ジャズコンサート」を好評のうち

に終わらせることができました。イベント内容はこの会報中に記されていますが、もう少し頑張ってイベントを増やしたいですね。そして皆さんと一堂に会し、マスクを外し、笑っておしゃべりができる日々を迎えたいですね。

この会は皆さん一人一人のお力添え、市・市議会・社会福祉協議会のご協力、各関係諸団体との協働による繋がりが歩みを進めているといっても過言ではありません。講師派遣依頼、特に会議、各種委員会からの要請も多くなっていますが、新年度も皆さんとともに一緒にがんばりたいと思います。末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

ご存知ですか？

健康保険で在宅マッサージが受けられます！

お問い合わせ、ご相談などお気軽にご連絡ください。

オリエンタル治療院

〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町 2183-9 TEL 0297-65-0985 FAX 0297-65-3323

バスハイク

2022年 5月 29日



コロナ禍でNPO法人活きるのほとんどのイベントが中止になっている中で、このバスハイクは頑張っていて続いています。

今年はある施設に行く予定でしたが、工事のため休みだったので、急遽いくつかの候補地で牛久大仏に行くことになりました。5月末は梅雨で雨の心配がありましたが、晴れの予報で一安心。

さて、当日は朝から快晴で行楽日和です。予報では気温が30度を超えそうなので、みんなの体調が心配です。9時半に市役所に集合し、障害者福祉センターあけぼのからお借りした福祉車両2台と宮脇車に分乗しました。参加者は車いすユーザーが5人、家族とボランティアが11人です。

牛久大仏までは23kmで近いのでのんびり走りました。11時に到着し、各自自由行動です。牛久大仏は内部（胎内）に入れて、一番高いフロア（5階）は地上85mの高さです。大仏の胸のあたりになります。そこにある窓はインドに向かっているそうです。一巡りしてからエレベータで1フロアずつ降りて行きます。4階はお土産コーナーです。次の3階がメインフロアでお寺に相当するところでたくさんの胎内仏という仏様が祭られています。権利を購入することで自分の仏になります。

2階は壁全面に仏様のありがたいお言葉の色紙が展示されています。読んでいくとすごく納得できたり、ユーモアのある説教もありでした。その一角にある売店には、そのお言葉が書かれている本が売られていたので、思わず買ってしまいました。

のんびり散策して、お昼になりました。昼食は近くにある阿見プレミアムアウトレットで摂ることにしました。車いすの人5名を含めた16人が一緒に入れるレストランはなかなかないので、巨大施設のアウトレットへ行けば何とかなるだろうと思ったのです。ゆっくりと食事をし、買い物を楽しんだ方もいました。3時にアウトレットを出発して取手に戻ったのは4時です。目的地が近かったことで、とてもゆったりとした時間を過ごせました。普段、みなさんあわただしい日々を送られているので、観光と同時にのんびりとした時間を提供するのバスハイクの魅力です。来年は今年行けなかった施設に行く予定です。

移送サービス運転者講習会

2022年6月18・19日

6月18、19日に移送サービスの国交省認定運転者講習会がありました。

今回はなんと17人の受講者で久しぶりの大人数の講習会でした。

(1日目)

終日座学で宮脇は移送サービス概論、移送サービスの運転・心構え、利用者理解、セダン車講習の4コマを務めました。特に利用者理解は障害の種別の特徴と支援を理解してもらうもので、NPO法人活きるの立場上、いつも講義に熱が入ってしまいます。しかし、受講される皆さんはとても熱心に聞かれて、今までにない反応を感じたので、しゃべっていてとても楽しかったです。



(2日目)



午前中は座学で午後は実技の試験です。

座学は接遇と介助、福祉車両の取り扱いなど。

実技試験は移乗介助と車いすの取り扱い、そして実際に車いすユーザー（モデル）を乗せて福祉車両で公道を走りました。

2日間、みっちりと内容の濃い講座を終え、最後に全員に修了証を授与しました。今後は移送サービスを展開している団体に加盟して、ボランティア活動を始めてもらうのですが、今回は何人の方が参加されるか楽しみです。いつもは参加してくれる率は1割程度ですが、

今回は期待できそうです。

「あいサポート運動」締結式

2022年6月23日



取手市では、今年度よりあいサポート運動を展開することになりました。この運動は鳥取県が発祥で、鳥取県と協定締結することで運動を始められます。

その締結式が開催されました。締結にあたって平井鳥取県知事がわざわざ取手まで出向いていただき、自らサインをしてくださいました。

この運動を市に提案し、ここまでの準備を手伝ったとりで障害者協働支援ネットワークのあいサポート運動担当の4人が参列させていただき、貴重な体験ができました。

平井知事はテレビで見るキャラクターそのままの気さくな方で、ネットワークのメンバーにも一人一人挨拶をしてくれました。

今後はサポーター研修を開催して多くのサポーターを育成し、障害者が困っているときにちょっとしたお手伝いができる人を増やして取手市が障害者に優しい町になることを目指します。



勝山君の戸頭中学校講話

2022年7月6日



取手市立戸頭中学校で1昨年生きがいをもって障がい者スポーツと共にとというテーマで障がいについてと卓球バレー体験を行いました。今回の参加人数は一年生81名でした。内容は僕の生活のこと、生きるのイベント紹介、チャレンジの広場の紹介、卓球バレーのこと、最後に卓球バレー体験を行いました。僕

も2回目だったので慣れてきました。最後の卓球バレーは説明したあとはみんなルールを守って楽しそうに行っていました。最後に僕にこのような経験の場、社会貢献の場を与えていただいた戸頭中学校教員の方や社会福祉協議会の方に感謝です。ありがとうございます。



チャレンジの広場

2023年2月28日

取手市福祉交流センター多目的ホールでチャレンジの広場を行いました。コロナウイルス感染防止の観点から人数を会員限定にし、感染対策をとったりと思うように開催できない部分もありましたが、2月は開催しました。参加者は障害当事者、ボランティアさん、関係者あわせて20名でした。内容はボッチャのみを行いました。今回は6チームに分かれ、総当たり戦をしました。



みんな自分のチームが勝てるようにととても真剣でしたが、笑顔や見ているチームからも歓声が上がリ、とても良い雰囲気でした。僕のこれからの思いですが、徐々に参加人数の制限をなくしていき、多くの方に障害者スポーツの面白さと楽しさを知ってもらえるイベントにしていきたいと思います。運営で大変な場面もありますが、今ではチャレンジの広場の運営と障害者スポーツは僕にとってかけがえのないものです。

最後にかげがえのないものを見つけさせてくれた活きるやチャレンジの広場を一緒に支えてくれている皆さんに感謝です。

●茨城県卓球バレー愛好会●

茨城卓球バレー愛好会は平成18年に旧茨城県代表チームれっつごー茨城というチームの解散に伴い、新たに卓球バレーを続けたいという仲間を中心に卓球バレー愛好会というチームを立ち上げました。毎月第2(日)に取手市取手ゆうあいプラザで練習会を行っています。

昨年の10月に愛好会として栃木大会に出場し、今年は3月に兵庫大会に出ました。栃木大会の結果は2位でした。

最後になりますがぼくならびに愛好会が卓球バレーをやれてるのもNPO法人活きるの方や関係者のご支援、ご協力のおかげだと感謝しております。

秋のライブコンサート

「JAZZ 三昧」

2022年11月6日

NPO法人活きるでは毎年からだをご不自由な方でも生の音楽を楽しめる機会を提供しています。しかし、新型コロナ感染回避のためにしばらく休んでいましたが、満を持して今回3年ぶりの開催となりました。



今回、ご協力いただいたのは以前に一度お願いしたJazzのCheer-kidsの皆さんです。リーダーの田中千晶さんに問い合わせたら前のメンバーは遠くに引っ越したということで、新たな編成を考えてく

ださり実現しました。

当日はさわやかな小春日和で暑いくらいでした。密になることを恐れて広くPRしなかったので何人くらい来るか読めません。開場するとぽつぽつとお客さんが来られます。知った顔が多いですが、隣の高齢者住宅の方が来てくれたのはうれしかったです。

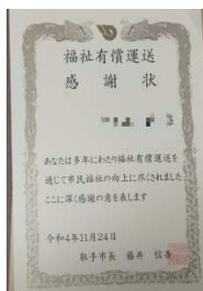
演奏が始まると、迫力に息を飲み込まれます。多くの方が聞いたことのある懐かしのスタンダードナンバーを選んでくれました。メインはトロンボーンの千晶さん。そして、ギター、ベース、ドラムの4人編成です。3年ぶりのコンサートは感無量です。



移送サービス従事者に感謝状

2022年11月25日

移送サービス活動をはじめて17年、市から社会貢献活動として認められ、移送サービスの運転ボランティア従事者に、長年移送サービスを通じて社会貢献してきたことに対して取手市から感謝状が贈呈されました。移送団体から総勢12人が選ばれました。NPO 法人活きるからは高久昇さん、染谷健夫さん、川又昌雄さん、佐々木博さんの4人の方が市長から感謝状が贈呈されました。この方たちはすでに活動から退かれましたが、長年活きるの移送活動に従事し、多くの移動困難者の送迎で貢献していただきました。ここに、4人の方の業績を讃えるとともに、関係者の方たちにお知らせします。



● 移送サービス ●

移送サービス事業を初めて17年、利用された方はのべ1200人を超えます。手伝ってくださった運転ボランティアさんものべ78人になりました。

事業開始から2人の方が今でも活動されています。逸見さんもその一人で、今年定年年齢に達するので勇退されます。まだまだ、お元気なので続けてもらいたいのですが、高齢化による安全面を考えて定年制にしたのです。今後は運転以外で関わってもらえたらと思っています。

さて、令和4年の利用状況は表の通りで、少ないボランティアで、よくこれだけやっているものだと思います。ひとえに利用者さんのことを思って活動しているボランティアさんのやる気によるものです。ますます、運転ボランティアさんの高齢化が進む中、新たな担い手を熱望します。

運行状況報告書

団体名 (特定非営利活動法人 活きる)

対象月	実利用者数(人)	実運転者数(人)	延べ送迎回数(回)	送迎料金(円)
令和4年1月	176	17	746	687,600
2月	179	18	750	686,900
3月	189	18	841	808,700
4月	196	16	831	760,000
5月	178	16	758	678,500
6月	200	15	944	910,700
7月	195	19	921	854,700
8月	197	19	854	736,600
9月	193	18	804	746,600
10月	194	16	826	774,600
11月	187	17	836	740,800
12月	193	16	854	765,800
合計			9965	9,151,500

事務所環境整備

2023年1月22日

木下財団の助成金を利用して事務所の環境整備をしました。整備したのは手洗いシンクです。

事務所を建てた時は資金がなく、とりあえず水道水を受けられれば良いとして屋外用の安いシンクを設置しました。しかし、このシンクでは車椅子の方が手を洗うことが出来ません。

約10年やっつけシンクで迷惑をかけていました。ある日、藤井取手市長から、木下財団にNPO法人活きるを推薦したので、助成金を有意義に使って欲しいと言われました。ありがたいお言葉をいただき、理事会で話し合った結果、不便さを感じていたシンクを交換して、車椅子の人達が自由に手を洗ったり、食器洗いの手伝いなどができるようにしようと決定しました。ついでに、床が汚くなってきたので床材の張り替えもやってもらいました。

機材の選定や施工は地域福祉に貢献されている取手福祉サービスの角田さんをお願いしました。写真を見れば分かるように、シンクの下が開放されているので排水用の配管レイアウトがとて大変だったそうです。

シンクは車椅子で利用できるだけでなく、スペースと費用の問題もクリア出来るものを見つけられました。床も病み上がりの体に鞭打って、全面を綺麗にしてもらいました。

助成金を提供してくれた木下財団、推薦してくれた藤井取手市長、施工してくれた取手福祉サービスの角田さんに感謝します。



あいサポーター研修

2023年2月19日

取手市で展開しているあいサポート運動に参加するサポーターのための研修があり、NPO法人活きるの宮脇と阿部が講師を務めました。

20人の定員に19名の応募があり、ますます盛況でした。

研修の内容はあいサポート運動について説明をしたあと、各障害の特性と困りごとを示した50分の動画を見てもらい、具体的にお手伝いの仕方をお話しました。



最後に簡単な手話の練習をして終了。

見た感じ、受講者の反応はますますだったでしょうか。実際にとりで障害者協働支援ネットワークへの入会申込みがあったのは予想外に嬉しかったです。

卓球バレー全国交流大会

2023年3月11日

兵庫県立障害者スポーツ交流館にて卓球バレー全国交流大会 in 兵庫が行われました。茨城卓球バレー愛好会が茨城県の代表として出場しました。大会は全国から12チームの参加があり、トーナメント形式でした。どのチームも強いチームばかりで12チーム中、8位という結果でした。悔しい気持ちもありましたが、最後は笑顔で終わることができました。

今回は前日から泊まりがけで行ったので、新幹線やホテルで会話やおいしいものを食べたりして楽しい2日間でした。最後に兵庫大会出場にあたり、応援、ご協力いただきました多くの方々に感謝します。本当にありがとうございました。これからも卓球バレーを続け、プレーはもとより、より多くの方に卓球バレーの魅力が伝わるよう、普及活動を行って行きたいと思います。



障害者（児）支援ボランティア講座

2023年2月22日

社会福祉協議会主催、令和4年度の障害者・児支援ボランティア講座1日目は身体障害者の講座です。例年、肢体不自由者の団体であるNPO法人活きるが担当し、宮脇が講師を務めています。当事者代表として妻の満理子も参加しました。今回の受講者は8名とますますの入りです。受講者のプロフィールを見ると、全員が何らかの障害に関わっている人たちでした。しかし、肢体不自由者と関わっている人はいなかったため、今日の講座は新鮮に感じてもらえるでしょう。まずは、宮脇がボランティアを始めたきっかけを話しました。妻がクモ膜下出血で重度の障害者になって、多くの方にお世話になったことへの恩返しのためです。今回の受講者の方たちはそもそも純粋に障害者の支援をやりたいと来られた方たちなので、宮脇と違って動機が純粋です。次に、ボランティアとしての基本的な立ち位置と心がけ、そして、障害者を支援する上で、



他のボランティア活動と違うところを聞いてもらいました。特に対等な立場での対人援助の特徴と自立に向けての意識付けを力説しました。これらはすべて宮脇が経験的に得た知識で学問的に勉強したわけではありません。講師として適切な役割か疑問が残りますが、少しでも心に残るものがあれば幸いです。後半は肢体不自由者の支援に大切な技術的支援について聞いてもらいました。まず、肢体不自由者の必須アイテムの車いすについて取り扱い方法や当事者にとってとても大事な道具であること、そしてシーティング（着座姿勢）の大切さもお話ししました。そして、もっとも重要な介護技術については12種類の介護技術を動画でお示しし、その特徴やコツを聞いてもらいました。時間の都合やコロナの感染リスクがあるので実技は今回見合わせました。動画を見ただけでは技術をマスターするのは難しいですが、こんな技術があるということを知ってもらって記憶に残してもらいたいです。技術習得はNPO法人活きる主催の楽ちん介護に来て学んでください。

援に大切な技術的支援について聞いてもらいました。まず、肢体不自由者の必須アイテムの車いすについて取り扱い方法や当事者にとってとても大事な道具であること、そしてシーティング（着座姿勢）の大切さもお話ししました。そして、もっとも重要な介護技術については12種類の介護技術を動画でお示しし、その特徴やコツを聞いてもらいました。時間の都合やコロナの感染リスクがあるので実技は今回見合わせました。動画を見ただけでは技術をマスターするのは難しいですが、こんな技術があるということを知ってもらって記憶に残してもらいたいです。技術習得はNPO法人活きる主催の楽ちん介護に来て学んでください。

◆ 障害者福祉団体リーダー研修会 ◆

2023年2月14日

茨城県主催の障害者福祉団体リーダー研修会に呼ばれて、取手市で始めたあいサポート運動について、阿部と宮脇が講演してきました。

この研修会はコロナ禍で3年ぶりに開催され、そんな貴重な会に呼ばれて光栄です。

講演の主旨は、民間のとりで障害者協働支援ネットワークがあいサポート運動に共感し、行政に提案して行政と一緒に鳥取県との協定が成立し、活動を始めた経緯をお話ししました。

ここに至るまで、ネットワークの設立のきっかけから、行政や社協と良い関係になるまでの成り行きや協働活動の内容も聞いてもらいました。皆さん、熱心に聞かれているのがよくわかり、そ



の反応に満足感を感じました。講演を終えると多くの質問があり、皆さんの興味深さを感じました。取手市だけでなく、茨城県全体にネットワークの理念が広がればよいというような感想がありました。

この企画を考えてくださった県の関係部署のみなさん、そして講演まで尽力してくださった市障害福祉課に感謝します。

地域福祉貢献

●取手市福祉政策への貢献（染野、宮脇、阿部）

取手市自立支援協議会、移送サービス運営協議会、地域助け合い協議体、社会福祉協議会理事、社会福祉協議会強化計画委員、社会福祉協議会広報編集委員、共同募金配分委員、地域福祉計画策定委員、取手市公募補助金検討委員

●講演会、講師派遣（染野、宮脇、阿部、勝山）

- ・各小学校障害者福祉講演
- ・各小学校障害者スポーツ講演
- ・障害児スポーツ教室協力
- ・卓球バレー指導者派遣
- ・障害者のための防災訓練技術指導
- ・国交省認定移送サービス運転者講習講師
- ・あいサポート運動サポーター研修講師
- ・県障害者団体リーダー研修講師
- ・障害者（児）支援ボランティア講座

●とりで障害者協働支援ネットワーク（代表、役員、広報）

◆ ありがとう ◆

木下財団 事務所整備費用（シンク交換）	250,000円
取手市役所 新型コロナ感染予防補助金	714,150円
チアキッズ	10,000円
サポートボランティアさん	100,000円
運転ボランティアさん	30,000円
運転ボランティアさん	飲み物、お菓子など多数
配松の山田さん	大量の玉ねぎ（売上20,000円）
移送利用者さん	12,000円

編集後記

年に1度の発行のため紙面の編集には気を使っていますが、その中でも神経を使うのが人です。活躍しているところの写真の選定で、一目でその様子がわかるコマを選んでいきます。印刷したときに写りを良くするためにある程度手を加えています。そのほか色々と。

編集担当 鈴木 澄利

2023年 4月 1日発行

発行所 NPO法人 活きる

発行者 染野 和成

編集者 鈴木 澄利

連絡 〒302-0027 取手市本郷5-4-21

TEL/FAX 0297-73-8361

ikiru7228@gmail.com

<http://npoikiru.stars.ne.jp/>

<https://www.facebook.com/npoi>

活動会員・賛助会員を募集しています

一緒にNPO法人活きるの活動に参加してみませんか
皆様のご参加をお待ちしています。

活動会員 個人・年会費 2,000円

団体・年会費 3,000円

賛助会員 個人・年会費 1口1,000円 1口以上

団体・年会費 1口2,000円 1口以上

（活動・賛助会員の総会議決権はありません）

振込先

・郵便振替 00190-7-778948